クイック ガイド

COMPASS GPS

データ移行

はじめに

COMPASS GPS にある「データ移行」について説明します。「セッション スタート」画面の左側のメニューから選択可能です。データ移行では、補聴器の設定データを同一シリーズの異なるモデル、クラスの補聴器に移行できます。

データ移行について

データ移行はすべてのシリーズで有効ではありません。移行できるのは、同じシリーズ内である限り、異なるレベル、モデル、イヤウェアを持ったものです。 同じシリーズであれば、クラス、モデル、イヤウェア構成の違いに関わらず、補聴器の設定データを他の補聴器に移行できます。

データ移行先の補聴器に以前使用された別のユーザーの設定データがあり、現在のユーザーに適さない場合には、データ移行が完了してから補聴器を試聴するようにしてください。

EVOKE / MOMENT サウンドセンス アダプト

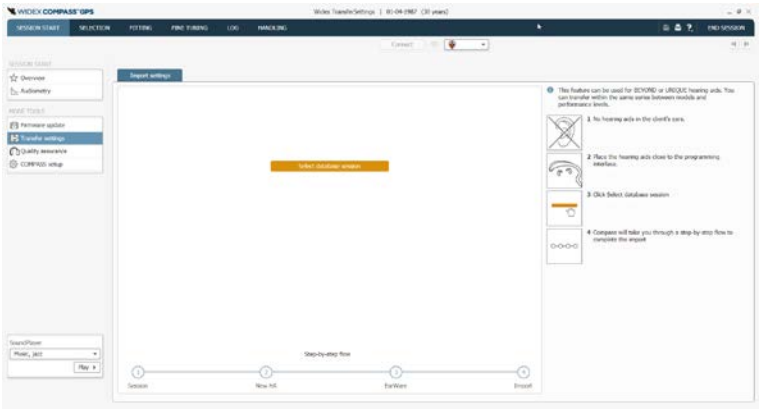
サウンドセンス アダプトのデータも含めて移行させたい場合、まず補聴器からデータをセッションデータとしてパソコンに保存します。データ移行の際に、そのセッションから行ってください。

データ移行は、補聴器の設定データを移すものであり、音質をコピーするものではありませんので注意してください。

クイック ガイド

データのインポート

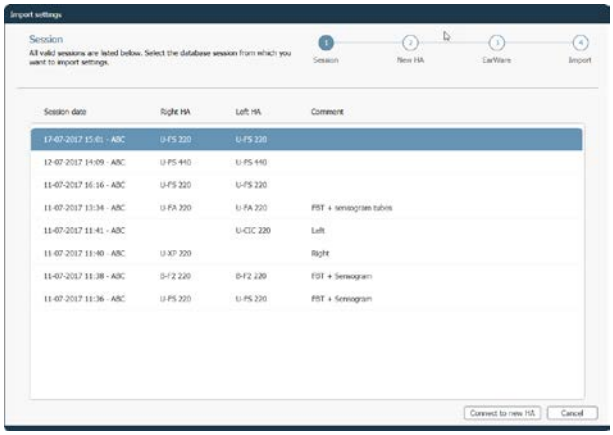
保存されたセッションデータからインポート:



1. セッションスタート画面より「データ移行」を選択。データ移行画面内に「インポート設定」が開く。

2. 移行先の補聴器をプログラミングインターフェースの近くに置きます。補聴器をまだ耳に着けないでください。

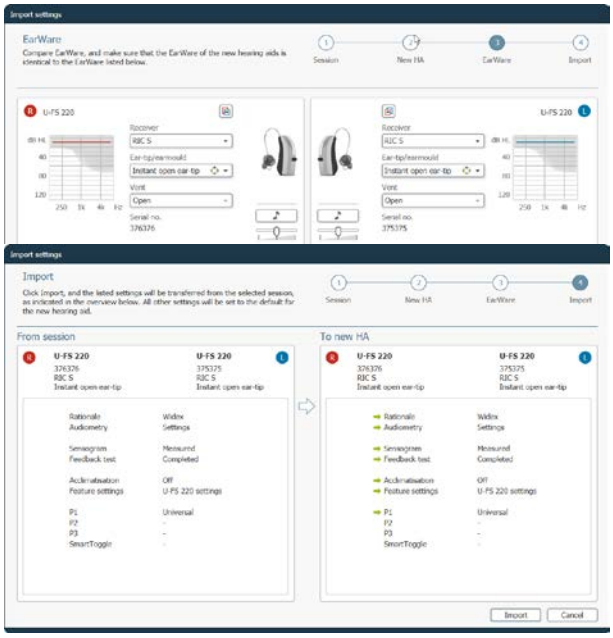
3. 「データベース セッションの選択」をクリックすると、インポート可能な有効なセッションが一覧表示されます。



4. データは、新しい順に表示されます。移行したいデータを選び、「移行先の補聴器へ接続」をクリックします。

5. 検出された補聴器が表示されます。左右を指定し、「次へ」をクリックします。

6. 接続された補聴器とセッションデータから読み込まれたイヤウェア情報が表示されます。選択された補聴器に対してイヤウェアを変更可能な場合、このオプションを選択可能です。適切なイヤウェアと音響構成を選択し、「次へ」をクリックします。



7. 移行されるデータが表示されます。どの設定がどのように移行されるか示しています。その他の設定は移行先補聴器のデフォルトになります。この画面は最終段階です。先へ進むとキャンセルはできません。先に進むには「インポート」をクリックします。

8. データの移行が完了します。

クイック ガイド

データ移行の詳細

下記事項に注意してください

- 聴力データは新しい補聴器へすべて移行されます。プログラム設定、サウンド クラス、機能設定は、可能な限り移行されます。
- 順応設定はインポートされました。自動順応がオンになると特別な条件が適用されます。
- **可能な場合**、フィードバックテストとセンソグラムの測定結果は移行されます。音響構成が変更された場合（モデル、レシーバー、イヤチップ、チューブなどの変更）、フィードバックテストとセンソグラムの結果は移行されませんので、再度測定が必要です。
- その他の設定は、推奨値へリセットされます。お知らせ音、ユーザーコントロール、IE 両耳協調構成、調整担当者設定は、初期値へリセットされます。
- 移行先の補聴器にあるデータに上書きされます。
- DEX や CROS/BiCROS 、アプリの設定は、移行されません。再度マッチングやペアリング設定が必要です。

より詳細な説明を *COMPASS* ヘルプで参照できます。？アイコンをクリックするか *F1* キーを押してください。

この文書は、電子データで供給されています。印刷されたものが御入用の場合、無償にてサイト http://widex.pro/gps-startup-guide,から依頼できます。配達には 7 営業日かかります。また、この文書は、サイト http://widex.pro/gps-startup-guide からダウンロード可能です。

Copyright © Widex. All rights reserved.

Document version: 2.0. Issue date: 2019-11